

Yumeken

夢けんせつ
DREAM CONSTRUCTORS

秋

2022 Vol.696

◆特集〇話題の焦点

～新会長インタビュー～

若者が誇りとやり甲斐を持ち、
夢を描ける建設業を目指して

◆夢インタビュー

地域の絆を深め、活性化につながる
フードバンク活動を目指して

◆第28回夢けんせつフォトコンテスト

入賞作品紹介

◆おじゃまします

株式会社 明豊建設



～新会長インタビュー～

若者が誇りとやり甲斐を持ち、
夢を描ける建設業を目指して

5月30日に開かれた通常総会で、新たに一般社団法人滋賀県建設業協会の会長に就任した奥田 克実氏に、広報委員会の山中良友委員長が、建設業が直面するさまざまな課題に立ち向かうため協会が果たす役割や、広報委員会に期待されることなどをうかがいました。



一般社団法人滋賀県建設業協会 会長 奥田 克実氏

**次代の担い手確保のために
一丸となって採用活動や
働き方改革を**

委員長 建設業界は今、さまざまな課題に直面していますが、会長に就任されて、これから特に入力を取り組んでいきたいと考えておられることはありませんか。

会長 まずは公共事業量の増加を図るため、各発注機関に事業量の増加や投資額の増額を働きかけることです。事業量が増加することで、建設業者は健全な経営を行うことができ、緊急時や災害時において国民、県民の皆さんの安全、安心をしっかりと守ることができるものと考えています。

委員長 そのために会員企業に要望されることはありますか。

会長 事業量が増えたところで、実際に工事に携わる人員が確保できていなくては何の意味もありません。建設業の担い手確保、魅力発信が重要となってきます。そこで、各企業において、地道に採用活動や、働き方改革を進めていただくのはもちろんですが、今こそ会員みんなの力を結集し、協会が一丸となってそれらを推進していくことが重要だと考えています。会員の皆様お一人お一人の協会事業へのご理解と積極的なご参加をお願いしたいと思います。

委員長 建設業は災害復旧やインフラ整備など、地域の安全安心な暮らしに欠かせない産業ですが、高齢化や後継者不足でその役割を十分果たせなくなることが危惧されています。それに対して滋賀県建設業協会では

リクルートキャラバンなどさまざまな取り組みを行ってまいりました。一連の取り組みに対する評価や今後の展望についてお聞かせください。

会長 リクルートキャラバンでは、若い会員が中心となって積極的に活動していることで大いに期待しています。出前授業の開催も、学生の内から建設業の良さを知ってもらえる良い機会になっています。若い人たちの入職促進には、年配者ではなく、同じ若い世代の会員が建設業の魅力アピールすることで共感を呼べると思いますので、今後も新しいアイデアを出しながら活発に活動してくれることを期待しています。

委員長 女性の活躍推進についてはどのように考えておられますか。

会長 会員企業で活躍している女性に声をかけて、来年度に女性部会を設立する予定です。そこで、交流や情報交換を行ったり、意見を聞かせていただいたりしながら、男女を問わず若い人たちが、余裕をもって楽しく生き生きと働ける、希望のある業界に変えていきたいと思います。

委員長 女性が働きやすい環境について、例えば現場ではどのように整備すればいいのでしょうか。

会長 当社の場合、現場の補助員として勤務する女性で建設ディレクターチームを組織して、現場に向いて所長に、例えばトイレのレイアウトなど改善点をアドバイスしています。

委員長 大学に求人を出しても地方の中小建設業はなかなか採用できないし、高校も専門

湖国 街かど
ウォッチング

新しい施設や街の話題をレポートするコーナーです。

近江八幡市立
健康ふれあい公園（近江八幡市）



今年完成した児童公園、奥に見えるのは環境エネルギーセンター 多目的広場、手前見えるのはジョギングコース

25メートル温水プール



平成29年に完成したプール棟は鉄骨造り地下1階、地上2階建てで、25メートルプールと、幼児・子どもプール、リラクゼーションプールがあり、開放的な吹き抜けで大きな開口部から自然光がたっぷりと入るように

平成28年に完成した近江八幡市環境エネルギーセンターの隣接地にある近江八幡市立健康ふれあい公園は、敷地面積約4.2ヘクタール、「子どもから高齢者までが利用できる健康増進のための運動公園」を基本コンセプトとして、5期計画で整備が進められ、今年、児童公園とグラウンドゴルフ場（芝生養生中）の整備が完成して全面開業しました。

環境エネルギーセンターは「ゴミの焼却熱で蒸気タービン発電機を動かして発電し、施設内の電力を賄うほか、余剰分をプールの温水や空調、床暖房に活用しています。

平成29年に完成したプール棟は鉄骨造り地下1階、地上2階建てで、25メートルプールと、幼児・子どもプール、リラクゼーションプールがあり、開放的な吹き抜けで大きな開口部から自然光がたっぷりと入るように

ヨガやエアロビクス教室が行われるフィットネススタジオ



なっています。プール棟は太陽光発電やプールの水の循環装置などを導入した環境に優しい施設で、フィットネススタジオ

そのほか、ゲートボール6面、テニスなら3面、フットサルは2面のコートレイアウトができる屋根付き多目的広場や、公認リーグパイル芝のサッカー場、1周480メートルのジョギングコースも整備されています。



屋根付きの多目的広場 高齢者用マシンもあるトレーニングルーム



JFA公認ロングパイル芝のサッカー場

近江八幡市立健康ふれあい公園

- 近江八幡市竹町1178番地
- 0748-37-0077
- https://www.omi8man-kenkofureai.jp
- 休館日 毎週月曜・年末年始

CONTENTS

湖国街かどウォッチング……………	2
近江八幡市立健康ふれあい公園（近江八幡市）……………	3
特集・話題の焦点……………	3
〈新会長インタビュー〉……………	3
若者が誇りとやり甲斐を持ち、夢を描ける建設業を目指して……………	3
第28回……………	6
夢けんせつフォトコンテスト……………	6
入賞作品紹介 ……………	6
おじやまします……………	12
株式会社 田豊建設……………	12
夢インタビュー……………	14
地域の絆を深め、活性化につながるフードバンク活動を目標して……………	14
一般社団法人「フードバンクびわ湖」理事長……………	14
曾田俊弘さん……………	14
ビジネス最前線……………	15
スラックラインの普及やマナー啓発の拠点を目標して……………	15
『栗東スラックラインパーク you 空感』……………	15
夢けんひろば……………	16
「仕事の達人・遊びの達人」……………	16
ドローンの操縦免許を取得……………	16
鳥の目で風景の撮影を楽しむ……………	16
藤田建設株式会社……………	16
江頭親房さん……………	16
クイズ……………	16
近江うまいもの紀行……………	19
編集後記……………	19
表紙写真……………	19
「集中」河本 泉……………	19
「夕刻の時」小林 正治……………	19
「ボクも運転したいな」0615wish……………	19

滋賀県建設業協会委員会活動

滋賀県建設業協会には総務経営委員会、公益推進委員会、アセットマネジメント推進委員会、青年部、広報委員会があり、今年度から新たに「建設生産システム委員会」が設置されました。

公共工事の入札や契約に関する調査、工事の生産性や技術の向上について検討するほか、契約制度などについて要望や提言も行っていきます。



リクルートキャラバン

建設業で働く人材を確保するため、「滋賀県の魅力」や「建設業のやりがい」などをPRしようと、滋賀県と共働り活動する建設業協会の「リクキャラ」。滋賀県とともに県内外の高校や高等専門学校、大学などを訪問して建設業の魅力やPRしたり、学生が企業と交流する機会を設けたり、合同説明会や座談会等を開催しています。



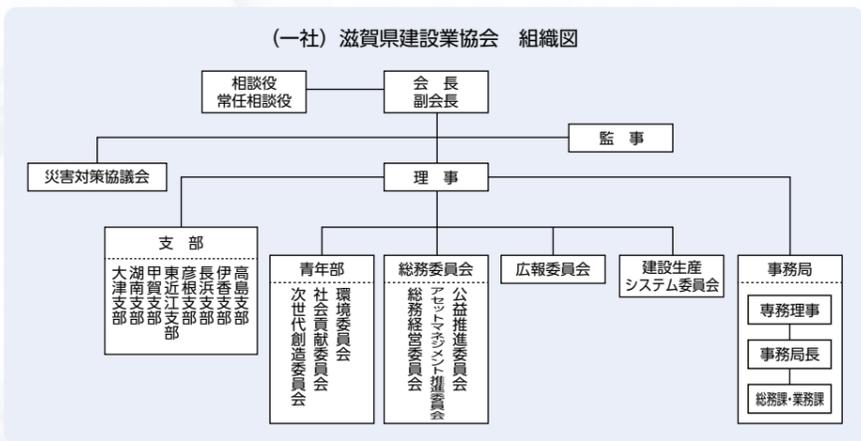
夢けんプラザ絵画コンクール

次代を担う子どもたちに、安全で快適な暮らしを守るインフラ整備や街の豊かな環境整備など、多くの役割を建設業が担っていることや、その役割の大切さに関心をもち、夢けんプラザを目的に、県内の小中学生を対象とした絵画コンクールを実施しています。



現場用シート

フォトコンテスト、絵画コンクールの入賞作品の一部を拡大印刷した現場用シートを製作して、会員企業の工事現場に掲出しています。



の学科のあるところが県内にほとんどないのが現状です。御社ではウエトナムの特定技能人材を多数採用されていますが……。

会長 直接ウエトナムに行くと、ハノイ工科大学で日本語講座を受講している学生を採用しています。入社後、日本語の教育や資格取得をサポートすることで、しっかり活躍できる人材として育てられています。

委員長 若者の人口が減り続けると海外に人材を求めるしかないのです、そういった採

設業の新3K（給与・休暇・希望）を実現すること。そして、年齢、性別、経歴に関係なくみんなが楽しく働ける業界でありたいと思います。そのためにも建設業における生産システムの合理化をはかり、官民協力する中でIT化を図ることが重要です。その一つとして「ICT」技術を活用していくことが挙げられます。

ICTとは「Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）」の略です。例えば、SNS上でのやり取りやメールでのコミュニケーション、オンラインショッピング等、人同士のコミュニケーションを手助けすることも一つの活用例で、「人々の暮らしを豊かにするためにIT技術をどのように活用するか」という点を重視しています。「コロナ禍において、学校に登校できない生徒にオンライン授業をしたり、家電製品にセンサーを設置し、その使用状況などで一人暮らしの高齢者を見守るなど、さまざまに活用されています。

委員長 建設業で導入すれば省力化や安全化を図ることが出来ますね。

会長 建設現場では、調査・設計においてICTが導入されていて、ドローンで撮影した写真情報やレーザースキャナーを用いた測量などがその例です。これらの測量機器を使用することで、これまでの測量では

用についても取り組んでいく必要があるでしょうね。

建設業の魅力や大切さを伝える 広報活動に期待

委員長 広報誌「夢けんせつ」は創刊以来、建設業のイメージアップを図り、会員企業の取り組みを会員以外の読者にも広く伝えるという役割を担ってきました。広報委員会、広報誌に対する評価やご意見、今後期待されることなどをお聞かせいただけますか。

会長 毎回さまざまなテーマについて広報活動が行われており、業界のイメージアップに大きく貢献していると思います。昨年の「けんせつみらいフェスタ」でも、多くの家族連れや若い方たちの参加にぎわいました。フォトコンテストも多数の優秀な作品の応募があり、うれしく思っています。また、絵画コンクールについても、興味を持ってもらうことにつながり、現場用シートを作成することで優秀な作品を多くの方に見ていただくため、高く評価できる内容だと思います。

これらの活動を通して、危険で汚くて暗い場所だと思われていた建設現場が、明るく楽しく、未来に向けて希望に満ちた場所だと認識が変わっていくことを願っています。

委員長 これからの建設業を担う若者がやり甲斐を感じ、将来に夢を持つような、未来の建設業のあり方、協会として目指しておられる働き方などについてお聞かせいただけますか。

会長 それにはまず、働き方改革を進め、建

困難だった膨大な量のデータを短時間で入手し、3次元データを作成することが可能です。

その3次元データは設計データと併せて自動案内や自動操縦機能を搭載した「ICT建機」と連動させて活用します。ICT建機を活用すれば、3次元データ・設計データと位置情報に基づいて自動操縦が行われるため、従来必要だった手順を省いたり、熟練が必要だった建機の繊細な操作が不要になります。また、電子化されたデータを使うので、施工後の検査も容易になるという利点があります。今後、官民一体となって一層の促進をしていくべきだと考えます。

委員長 最後に紙面を通じて、会員のみなさんや一般読者に伝えたいメッセージがありましたらお願いいたします。

会長 考えてみてください。どんな人も建設業に関わりなく生きていくことはできません。車で走る道、歩く舗道、随所に建つビル、公共交通の駅や線路、川や海を渡る橋、誰もが利用するものです。そのような大切な構造物の建造に携わる建設業のみなさん、誇りをもち、日々仕事に励んでください。そしてそれを利用してみなさんも、建設業を知っていただき、その大切さを忘れないでいただけたらと思います。

私たちはみなさんの安心、安全な生活を守るため、これからも一層の工夫と努力を続けていくことをお約束いたします。

滋賀けんせつみらいフェスタ



建設業の魅力や県民のみなさんに発信する目的で、滋賀県建設業魅力アップ実行委員会主催で毎年秋に開催されるけんせつみらいフェスタ。官公庁や建設業団体が出展して、さまざまな展示や体験企画などで、建設業の仕事や技術の素晴らしさを伝えます。

夢けんせつフォトコンテスト

今年で28回目を迎える「夢けんせつフォトコンテスト」。「建設業ではたらく人々」の建設物がある滋賀の風景」をテーマに、毎年全国各地からたくさんの方の応募作品が集まっています。

四季折々の滋賀の風景に溶け込む建設物のほか、普段はあまり見られない建設現場で働く人々の姿、休憩時間に見せる素敵な笑顔など、滋賀の美しさや建設業の魅力を伝える作品の中から選ばれた入賞作品は、広報誌「夢けんせつ」の紙面で紹介されるほか、県内の会場でも作品展を行っています。



災害復旧活動／除雪作業／防疫活動

地域の建設会社は、台風や豪雨、地震など自然災害で大きな被害が起きた時に、自治体との災害協定に基づき、いち早く現場に駆けつけて応急復旧活動を行っています。大雪の時には深夜から早朝にかけての除雪作業や、鳥インフルエンザなど家畜の感染症が発生した場合の防疫活動など、地元建設会社は県民の目にとまらないところでも、暮らしを守るためのさまざまな活動を行っています。



優秀賞



一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会長賞
「製品の識別検査」谷口 正樹〔滋賀県〕

現場に並べられた沢山の製品。日々の作業状況を記録的に捉え、背景も沢山人入れ現場の様子を巧くまとめました。



滋賀労働局長賞
「使い方解る？」北川 孝〔滋賀県〕

ゼスチャーを交えた二人の会話が聞こえ、先輩と後輩の関係がシンプルな画面からよく伝わってきます。



独立行政法人勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部長賞
「お！出来上がったね？」永松 愛〔福岡県〕

大きなパイプでしょうか？溶接が出来上がり会心の笑み。明るい背景に顔が浮上がり見事に瞬間を撮りました。



建設業労働災害防止協会滋賀県支部長賞
「一心不乱」稲田 継夫〔東京都〕

三人の視線が集中、ワイヤーを固定する瞬間の緊張感があります。機械は部分であり大きさを想像させる上手な切り取りです。

特別賞



縦横の線、パイプやロープの柔らかな線、少し離れた所からの撮影で人の動きと共に線を生かして現場の状況を的確に捉えています。

BBCびわ湖放送株式会社賞
「法面のモルタルの吹付け工事」
高木 志津夫〔福島県〕

PHOTO 第28回 CONTEST 入賞作品

第1部「建設業ではたらく人々」
第2部「建設物がある滋賀の風景」
第3部 インスタグラム部門
「建設業ではたらく人々」

●審査員／滋賀県写真連盟 会長：澤野 二朗 並びに主催者

- 主催／一般社団法人滋賀県建設業協会
- 後援／滋賀県、滋賀労働局、公益社団法人滋賀県建設産業団体連合会、西日本建設業保証株式会社滋賀支店、滋賀県建設事業協同組合、一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会、建設業労働災害防止協会滋賀県支部、独立行政法人勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部、びわ湖放送株式会社、株式会社SIN
- 協賛／滋賀県写真連盟、滋賀県カメラ材料商組合、フジカラープロフェッショナルラボ(株)トミカラー

第1部・第2部		応募者数	応募点数	第1部	第2部
総数		152人	268点	122点	146点
内訳	県内	108人	185点	63点	122点
	県外	44人	83点	59点	24点
		応募者数	応募点数		
第3部 インスタグラム部門		6人	7点		

入賞作品展のお知らせ 入場無料

- 10月29日(土) 滋賀けんせつみらいフェスタ2022 大津港 (滋賀県大津市浜大津五丁目5-1)
- 令和5年4月中旬 愛荘町立愛知川びんてまりの館 (滋賀県愛知郡愛荘町市1673)

審査後記 滋賀県写真連盟会長 澤野 二朗

コロナ禍で昨年より応募人数、点数とも若干少なくなりましたが、北海道から九州まで、全国各地から応募いただきありがとうございます。第1部では、制限のある被写体であり難しい中、現場の状況や仲間の作業を厳しい環境の中で人との繋がりが現場の雰囲気や巧みに捉え、切り詰め過ぎ環境や雰囲気が伝わってこない作品が今回もあったのは残念でした。第2部では、場所の発見、新しい視覚、季節や時間帯を変え、応募者の努力を感じました。第3部も3年目ですが応募が少ないのは残念で気軽に応募いただきたいと思えます。次回も若者や子供たちに夢を与える働く人々の生き生きとした姿をあなたのカメラアイで、また、未だ見ない滋賀の建設物のある風景を作品に仕上げてください。

第1部「建設業ではたらく人々」(デジカメ・カメラ可)

グランプリ

滋賀県知事賞
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞
「集中」河本 泉〔熊本県〕



評

林立するクレーンや沢山のショベル、ダンプカーなど慌ただしく動く。手前は通路の確保？溶接する人達。大きな現場を臨場感豊かに見事にまとめました。

第2部「建設物がある滋賀の風景」

(デジカメ・カメラ可)

グランプリ



滋賀県知事賞
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞
「夕刻の時」 小林 正治 [滋賀県 滋賀県甲賀市]

評

水面の映り込みと水の動き、背後の山や雲など夕方の美しい景色にまよりました。季節や時間を選び撮影した作者の意欲を感じます。



「三重機一体」
伊藤 孝司 [三重県]



「参道の石積みを指導する石工」
山田 祐市 [滋賀県]



「後方注意！」
赤嶺 斗基 [滋賀県]



「眼光鋭く！」
中川 貴史 [滋賀県]



「共同作業」
乗松 賢二 [愛媛県]



「雪の早朝」
金井 正顕 [京都府]



「足場のなかで」
岡本 聖 [京都府]



「植生基材吹付作業」
島 秀紀 [滋賀県]



「建設業って楽しいね」
山田 亮太 [滋賀県]



「スーパーデッキ」
渡辺 克実 [滋賀県]

優秀賞



「春爛漫」
木村 正司 [滋賀県 滋賀県米原市]

滋賀産業新聞賞
「春爛漫」
木村 正司 [滋賀県 滋賀県米原市]

公益社団法人滋賀県建設産業団体連合会長賞
「涼を求めて」
寺尾 幹男 [滋賀県 滋賀県愛荘町]



シャッタースピードの設定がよく水の流れの美しさを見事に表現しています。二組の親子も上手に配置し親しみのある場所としてアピールしています。



「花筏」
高所から時間を連ねる撮影で、自動車道が静かな風景に動きを加え活気ある美しい風景に仕上げました。

西日本建設業保証株式会社滋賀支店長賞
「トワイライト」
田村 昌也 [滋賀県 滋賀県甲賀市]

滋賀県建設事業協同組合理事長賞
「花筏」
栗原 達夫 [滋賀県 滋賀県甲賀市]



「チームワーク」
流れの美しさを桜の花びらが倍加し抽象画のようです。いい場所を見つけ何度も通い最良の条件での撮影です。

奨励賞



「耳を澄まして」
上野 邦雄 [滋賀県]



「インフラ女子」土木の未来を見通す」
田上 幸喜 [宮崎県]



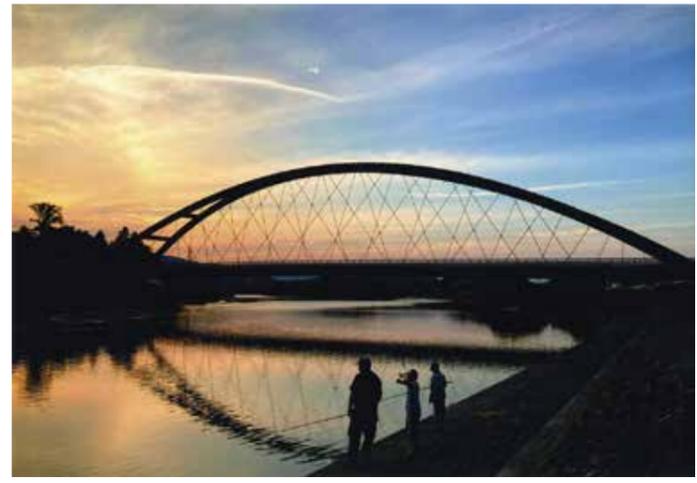
「集中」
村松 透 [滋賀県]



「チームワーク」
大音 昌江 [滋賀県]



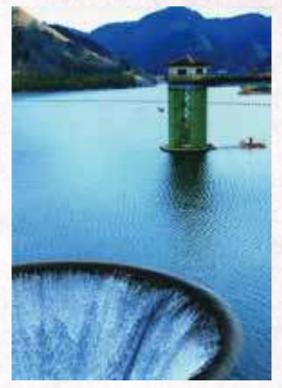
「駅のインフラの拡充」
塩見 芳隆 [京都府]



BBCびわ湖放送株式会社賞
「瀬田川令和大橋暮情」
山本 広美 [滋賀県]
〈滋賀県大津市〉

評
令和大橋は建設当時からいろんな作品が出てきました。釣りを楽しむ親子と焼けた空が大橋の存在を強く表し、楽しい作品です。

奨励賞



「春めくダム湖」
西川 美恵 [滋賀県]
〈滋賀県甲賀市〉



「いとなみを守る」
川崎 秀朗 [滋賀県]
〈滋賀県彦根市〉



「続く道」
門田 雄一 [滋賀県]
〈滋賀県長浜市〉



「黄色い風」
田村 勇人 [滋賀県]
〈滋賀県守山市〉



「ダイヤモンド堰堤」
西村 忠員 [滋賀県]
〈滋賀県高島市〉

入選

第3部 インスタグラム部門「建設業ではたらく人々」(デジカメ・カメラ可)

優秀賞

グランプリ



滋賀県知事賞
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞
0615wish 「ボクも運転したいな」

評
子供の視線の先、表情は見えませんが、楽しんでいる様子がよく伝わってきます。



夢けんせつフォトコン実行委員会 委員長賞
sub「masterc.」 「働く人の大きさ」

評
夜間工事でライトに映し出された大男々街中の高架下での工事の様子を面白く捉えました。



夢けんせつフォトコン実行委員会 委員長賞
hsmt_group 「新入社員研修」

評
機器の使い方、説明に答えた手の動きなど会話が聞こえてきます。



「青の反響」
瀬川 正昭 [滋賀県]
〈滋賀県近江八幡市〉



「明日に架ける橋」
村居 幸路 [滋賀県] 〈滋賀県米原市〉



「朱の輝き」
家根 昌二 [滋賀県] 〈滋賀県大津市〉



「出漁の刻」
前田 鉄矢 [滋賀県]
〈滋賀県草津市〉



「水鏡」
大橋 実 [滋賀県] 〈滋賀県米原市〉



「水の里」
茶山 昌子 [滋賀県] 〈滋賀県長浜市〉



「天空のテラス」
斎藤 俊信 [奈良県]
〈滋賀県大津市〉



「天空のテラス」
武久 勉 [滋賀県] 〈滋賀県大津市〉



「花吹雪舞うウグイ川」
平 尚治 [滋賀県]
〈滋賀県甲賀市〉



「びわこ疎水の秋景」
金岡 明光 [大阪府] 〈滋賀県大津市〉

地域の暮らしを守り、 ともに歩む建設業を目標に

株式会社 明豊建設

長浜市加納町394

代表取締役社長 山田浩之



本社



昭和50年頃の社屋

支部長に就任、支部建設業の発展を誓う

今年7月、4代目の代表取締役社長に就任した山田浩之氏。同時に滋賀県建設業協会長浜支部の支部長にも就任、土木工事をメインに数多くの公共工事を行ってきた経験を活かし、「県や市ももっと内容の濃い意見交換ができるようにして、支部会員企業の発展に貢献していきたい」と考えています。

情報処理技術を学び、ソフトの開発などの経験を持つ山田社長。明豊建設入社後は、自社の実情に合った売上管理や請求書発行システムの開発を手がけました。

建設の知識がまったくなかったため、入社後さまざまな部署をまわって経験を積んだという山田社長は、「異業種から建設業界に入ったので、逆に業界が直面する課題がよく見える。景気動向に大きく左右されることや、事業計画や年間ビジョンが立てにくいことなど、いろいろ問題はありますが、やはり人材の確保が最大の課題。サービス業や製造業、IT



施工例(愛知川彦根補助道路整備工事)



施工例(希望が丘文化公園球場整備工事)



施工例(日野川広域河川改修工事)



県優良工事表彰の企業庁長賞を受賞した八幡安土パイプ送水管工事

フェスタ」などを通じて、子どもたちに建設業の魅力を伝えるといった地道な取り組みを積み重ねてきました。

「同じ建設業で人材を取り合うのではなく、建設業の雇用条件を他の業種と同じにして、全産業と同じスタート台に立って勝負できるようにすることが大切」と言う山田社長。同社では4月から週休2日制を導入、124日の年間休暇を実現したほか、今後、現場に書類整理などの業務支援を導入したり、ICT化の適正な導入を検討しながら、現場の業務負担を軽減して、働きやすい職場づくりを進めていきたいと考えています。

「世代間のブランクができないよう、継続して新卒を採用していくことができれば、若い人が意欲を持って働ける環境を作ることができる」との考えから、総務スタッフの一人を採用に集中できるようにしたことで、新卒の採用に道筋をつけ、中途採用については県外からも必要な人材を確保できるようにしました。

業界等は若い人材がどんどん入ってきて、追いつけ追い越せで仕事をしているのに比べる、技術者の高齢化が危惧される中、若い人が入りたがらないだけでなく、その親御さんにも人気がないため、若手の採用に苦慮している」と指摘します。

人材確保を視野に建設業の魅力を発信

協会青年部で代表委員長を務めていた時代には、「青年会議の全国大会などで、国会議員のほか関係や事務方とも意見交換する機会があったが、若い者が声をあげて訴えることに真摯に耳を傾けてもらい、しっかり対応してもらえたという印象を持った。ある時、若い人が来てくれないと嘆いているだけでなく、もっと声をあげて建設業の魅力を発信し、アピールしていくことが大切だと言われたことが強く心に残った」と語ります。

地域貢献を目指し水草を有効活用した環境製品を開発

数年前から知名度向上と建設業のイメージアップを目指して、環境製品の開発に取り組んできた同社。近年力を入れているアグリサイエンス事業では、琵琶湖の環境に影響を及ぼす水草の有効活用を目的に開発したオーガニック肥料『湖の恵』に注目が集まっています。『湖の恵』は今年、甲賀市で行われた植樹祭の肥料にも採用されました。厄介者の水草を利用するだけでなく、収益の一部を琵琶湖の環境保全基金に寄付することで、地域貢献にもつながると期待を寄せています。

昭和13年に創業した同社、「創業100周年に向けて、地元へ何が還元できるかを考えていきたい」という山田社長。以前から取り組んでいる「CESAアクションプログラム」環境教室」活動のほか、小中学生を対象にした職業体験、学校へ出向いての講演活動、地元小中学校のグラウンド整備などを継続的に行いながら、地域の暮らしを守りともに発展する企業を目指しています。

琵琶湖の水草を有効活用した有機肥料「湖の恵」



山田浩之代表取締役社長



アスファルト合材の製造販売を行うアスコン部



コンクリート殻・アスファルト殻を再利用するリサイクル事業部



「美知メセナ」で道路の除草・清掃活動に取り組む



地域との交流を図る「CESAアクションプログラム=環境教室」活動



地域との交流を図る「CESAアクションプログラム=環境教室」活動

スラックラインの普及や マナー啓発の拠点を目指して

栗東スラックラインパーク you空感

栗東市荒張210-12
090-5158-8800
https://rittoslackline.com
利用料金は大人2時間で平日は600円、
土日祝は1,000円
※詳細はホームページでご確認ください。



ラインの上でバランスを保つことで
体幹や平衡感覚が鍛えられる。



インストラクターの資格を持つ林さん親子

遊ぶために道具をネットで購入しました。「思ったより難しかったけれど、そのおもしろさにはまってしまい、海外の動画などを見て技を磨いた」と言う林さん。



2009年には日本でもスラックラインの道具が販売されるようになり、メディアで紹介されるなどして、少しずつ広がっていきま

2020年に栗東市にオープンした「栗東スラックラインパーク you空感」。創設者の林英雄さんは、代表で娘の愛利さんが子どもの頃、スラックラインに興味を持ち、一緒に

アメリカで生まれたニュースポーツ



パーク内には初心者用に低く張られたラインから、30m以上距離のあるロングライン、約6mの高さに張られたハイライン、アクロバティックなパフォーマンスを練習するトリックライン、ゆらゆらと乗るロデオラインなどが整備されている。

幅2.5cm×5cmのベルト状のラインの上を歩いたり、バランスを取ったりして楽しむスラックラインは、1980年代にアメリカで生まれた比較的新しいスポーツです。ヨセミテ国立公園に集まるクライマーたちが、バランス感覚を鍛えるため、公園に張られた鉄製のチェーンの上を歩いて遊んだことが起源だと言われています。

初心者から上級者まで楽しめる施設

パーク内には地面からの高さが15〜25cm、距離は2.5〜3.5mの初心者エリアから、ロングラインや上級者向けのハイライン、ロデオライン、ジャンプや回転技を行うトリックラインのほか、回転技などを練習するためのトランポリンも設置されています。日本でも最大級のスラックライン専用施設です。



また、隣接地にはキャンプ場も併設されているので、キャンプを楽しんでスラックラインも体験できるのが魅力です。

力です。初心者には、(一社)日本スラックライン連盟の公認インストラクターの資格を持つ林さん親子が、遊び方などをレクチャーして、だれでも安全に体験できるようにしています。スラックラインの魅力について、「日本のラインで子どもから高齢者まで、また初心者から上級者までさまざまな楽しみ方ができること、新しいスポーツなので自由な発想で遊べるこ

キャンプサイトも併設されている。



「公園にラインを張ったりする際、他の利用者の迷惑にならないようにして、安全に楽しむためのルールやマナーといったことも合わせて普及していく必要がある。ここを拠点としてスラックラインの普及や情報発信に取り組みしていきたい」と、今後の展開について考えています。



家庭でトレーニングできる練習用のツール

地域の絆を深め、活性化につながる フードバンク活動を目標として



フードバンクは、まだ食べられるのに処分される食品を、必要としている人や団体に無償で届ける活動です。ともすれば、困っている人だけに食品を施す活動と捉えてしまいがちですが、一般社団法人フードバンクびわ湖理事長の曾田俊弘さんは、だれもが参加できて、だれもが利用でき、地域の活性化にもつながる活動にしていきたいと考えています。



一般社団法人 フードバンクびわ湖
https://peraichi.com/landing_pages/view/foodbankbiwako/

フードバンクびわ湖が目指すフードバンク活動についてお話をうかがいました。

●**フードバンクを始められたきっかけについて教えてください。**
この活動の原点となったのは、滋賀県内の浄土宗の若手僧侶によるボランティア活動「おうみ米升運動」でした。県内の浄土宗のお寺にお供えされたお米のお下がりを集めて、フードバンク等の団体に寄付しお分けするというもので、2009年からスタートして、東日本大震災などの被災地にも直接お米を届けたりしました。この活動は今も続いています。

●**そこからフードバンクの立ち上げに発展したのですか。**
米升運動を通じて、フードバンク団体との縁をいただき、米升運動がまさに「お寺版フードバンク活動」であることに気づきました。お米を持ち寄るのは「フードドライブ」であり、被災地の仮設住宅やお寺で開催したお米の配布会は「フードパントリー」そのものです。このフードドライブとフードパントリーというフードバンク活動をお寺の世界だけでなく、滋賀県全域に拡げていきたいと2008年にフードバンクびわ湖を立ち上げました。

●**現在の主な活動についてご紹介いただけますか。**
食品を集める、配布するというのが活動の2つの柱です。特に「フードドライブ」によって家庭で眠っている食品を集めることに力を入れています。市役所や食品スーパーなど人の集まる場所に「フードボックス(食品回収箱)」を設置し、誰でも何時でも気軽に食品を寄付できる環境づくりを進めています。

実は食品口入は企業から出る口入と家庭から出る口入が半々くらいなんです。ですから、フードボックスに食べきれない食品を寄付するだけ

で、誰もが食品口入削減に協力でき、なおかつ食料が必要な人の支えとなり、ひいては滋賀県の実情と福祉の向上に貢献できるのです。このことを広く知っていただけたらと思います。「食品口入を地域資源に」というスローガンを掲げて「フードドライブ」の普及と推進に取り組んでいます。

また、自治会やまちづくり協議会などに「フードドライブ」を積極的に働きかけていて、守山市ですでに多くの自治会が自治会活動として取り組んでくださっています。

●**コロナ禍での活動を通じてお感じになったことはありますか。**
収入が減ったり仕事を失ったりして、困窮されている方が確実に増えているのを感じています。市役所や社協や子ども食堂など地域の諸団体と連携して各地で「フードパントリー」を開催し、食料を取りに来ていただいたり、ご自宅に届けたりしています。警察から連絡を受けて、「コロナの影響で帰国できなくなった外国籍の方に食料支援を行ったこと」もあります。

●**お寺にもフードボックスを設置されているようですが、これからの時代にお寺が果たす役割についてどのように考えておられますか。**
お寺はもともと寺子屋を開いて子どもたちに居場所を提供したり、「講」を組織して地域のみなさんが集う場としての役割を担っていました。今は檀信徒様や地域の方々におうみ米升運動にお米をご喜捨いただくという形で応援していただけていますが、今後はお寺で「フードパントリー」や食事付きの学習支援事業を開催し、それに関わっていただくつもりです。そしてお寺を本来の姿である、さまざまな人々が集まっ

た。フードバンクは、まだ食べられるのに処分される食品を、必要としている人や団体に無償で届ける活動です。ともすれば、困っている人だけに食品を施す活動と捉えてしまいがちですが、一般社団法人フードバンクびわ湖理事長の曾田俊弘さんは、だれもが参加できて、だれもが利用でき、地域の活性化にもつながる活動にしていきたいと考えています。

た。フードバンクは、まだ食べられるのに処分される食品を、必要としている人や団体に無償で届ける活動です。ともすれば、困っている人だけに食品を施す活動と捉えてしまいがちですが、一般社団法人フードバンクびわ湖理事長の曾田俊弘さんは、だれもが参加できて、だれもが利用でき、地域の活性化にもつながる活動にしていきたいと考えています。



一般社団法人『フードバンクびわ湖』理事長 曾田俊弘さん

甲賀市にある浄土宗浄福寺と西蓮寺の住職。滋賀教区浄土宗青年会の食料支援活動「おうみ米一升運動」の発起人。2018年にフードバンクびわ湖を設立、理事長に就任。

●**最後に今後の目標についてお聞かせいただけますか。**
私たちが目指しているのは、どなたでも気軽に関われるフードバンクです。フードバンク活動は「もったいない」精神に基づいた、環境保全活動でもあり、福祉活動でもあり、さらに地域貢献活動にもつながっています。このことをご理解いただき、食品を寄付する方にも受け取る方にも「もったいないをへらすことができてよかった」と思ってもらいたいです。フードバンク活動は「もったいない」「お互い様」精神を呼び起こし、地域の「笑顔と絆」を深め活性化させることができる活動だと思えますので、多くの方に関わっていただき喜びを分かち合えればと願っております。

●**最後に今後の目標についてお聞かせいただけますか。**
私たちが目指しているのは、どなたでも気軽に関われるフードバンクです。フードバンク活動は「もったいない」精神に基づいた、環境保全活動でもあり、福祉活動でもあり、さらに地域貢献活動にもつながっています。このことをご理解いただき、食品を寄付する方にも受け取る方にも「もったいないをへらすことができてよかった」と思ってもらいたいです。フードバンク活動は「もったいない」「お互い様」精神を呼び起こし、地域の「笑顔と絆」を深め活性化させることができる活動だと思えますので、多くの方に関わっていただき喜びを分かち合えればと願っております。

今、立命館大学の学生さんと連携して災害備蓄用アルファ化米を活用したレシピ開発に取り組み中であり、滋賀県社協に協力していただいている県内の子ども食堂に拡げようとしています。また、私たちの活動に関心を持った学生さんから、研究テーマにしたいといった問い合わせも増えています。そういった期待にも応えられるような活動にしていきたいと思っています。

と」と言う林さん。

さらに、体幹を鍛え、バランス感覚を養う効果が大きいため、あらゆるスポーツの基礎トレーニングに役立ち、高齢者には足腰の強化、つまずき予防や脳の活性化にも効果が期待できると言われています。

新型コロナウイルスの影響もありましたが、クラブのメンバーの一人が、2020年の全日本選手権のジュニアの部で優勝を果たすなど、少しずつ実績を重ねてきました。

ビジネスとしての可能性については、「競技人口をどう増やしていくかが課題。もっと気軽に体験できる施設を増やしたり、イベントなどで体験していただく機会を設けていくことが大切」と語る林さん。日野町にあるブルーメの丘で、定期的にスラックラインの体験イベントを開催するなど、スラックラインの普及にも努めています。

「公園にラインを張ったりする際、他の利用者の迷惑にならないようにして、安全に楽しむためのルールやマナーといったことも合わせて普及していく必要がある。ここを拠点としてスラックラインの普及や情報発信に取り組みしていきたい」と、今後の展開について考えています。

第28回フォトコンテスト審査会を開催

8月10日(水)、夢けんプラザにおいて、第28回「夢けんせつフォトコンテスト」審査会が開催されました。募集は7月20日に締め切れ全国から275点の力作が寄せられました。

今年は第1部「建設業ではたらく人々」が122点、第2部「建設物がある滋賀の風景」が146点、第3部インスタグラム部「建設業ではたらく人々」には7点の応募がありました。

当日は滋賀県写真連盟会長、主催者らによって厳正な審査が行われ、入賞作品45点が決定しました。



滋賀県建設業協会の活動についてご紹介するコーナーです。協会広報委員会のフェイスブックもあわせてご覧ください。

夢けんひろば

滋賀けんせつみらいフェスタ2022

滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会主催の「けんせつみらいフェスタ」は、建設業のしごとについて『みたり』『ふれたり』できる参加型イベント!建設車両の展示や30を超えるブース出展、バンド演奏やジャグリングショーなど、楽しい企画が盛りだくさんのフェスタです。



日時 令和4年10月29日(土曜日)
10時00分～15時00分

(雨天時の予備日:令和4年10月30日(日曜日) 10時00分～15時00分)

場所 大津港前イベント特設会場(大津市浜大津五丁目地先)

■お問い合わせ 077-522-3232



彦根工業高校建設科3年生を対象にリクルートキャラバン出前授業

7月7日(木)滋賀県土木交通部とリクルートキャラバンとの協働で、建設科3年生の36名を対象に出前授業を開催しました。

高校生活の最終年を迎えた3年生を前に、リクルートキャラバンから、建設業に就職することの意味や、他産業では経験できないダイナミズム等について紹介し、また生徒さんからは、就職観や将来の夢についてお話をいただきました。

その後、滋賀県湖東土木事務所の方による現在進行している工事の解説、そして滋賀県土木交通部の方から、同部制作のYouTube「いなずまどぼっく」の紹介が行われ、生徒のみなさんはメモを取るなど熱心に耳を傾けていました。



彦根工業高校建設科1年生対象 リクルートキャラバン出前授業

9月14日、滋賀県土木交通部とリクルートキャラバンとの協働で37名の生徒を対象に2時間に亘り出前授業を開催しました。

前半は1年生の皆さんへ、リクルートキャラバンから人気の漫画やゲームになぞらえて建設業の仕事を紹介しました。

その後、グループワークとして、6つの班に分かれてA4用紙100枚で作る「ペーパータワー」の制作を実施。制作会議5分、工事時間10分でグループごとにタワーを制作して、タワーの高さ、芸術点を競い合いました。

授業で習った「すじかい」の技法を導入したり、紙で作った人気キャラクターのアイテムをアクセントにしたり、また強度やデザインにこだわったりと、それぞれのグループの個性を生かした素晴らしいタワーが完成しました。



令和4年8月の大雨による災害応急復旧活動に対応

令和4年8月3日から全国各地で降りはじめた豪雨により、滋賀県内においても4日の豪雨で長浜市の高時川が氾濫するなど大きな被害が発生しました。

滋賀県建設業協会では、滋賀県からの要請を受け、協会本部に災害対策本部を設置し伊香支部と対応にあたりました。

被害が発生した長浜市木之本町の高時川の護岸欠損、国道365号線土砂流出等の応急復旧活動に伊香支部会員が対応しました。

また、高島支部においても滋賀県と高島市からの要請で、マキノ町の海岸海岸から新旭の源氏浜に流れ着いた流木等の撤去作業に高島支部会員が対応しました。



前号の答え
はたらきかたかいかく

パズル&クイズ当選者

- 佐次 恭子さん
- 深尾 保子さん
- 藤川かおるさん
- 高岡恵美子さん
- 北村 馨さん
- 植松 正樹さん
- 廣田 敏夫さん
- 野村ミツ子さん
- 大伴 和子さん
- 川島 幹雄さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるってご応募ください。
- 別のハガキにてご応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り
令和5年1月20日必着
- あて先
〒520-0801
大津市におの浜一丁目1-18
(一社)滋賀県建設業協会 広報委員会

季刊夢けんせつ秋号
◆
2022年(令和4年)10月10日
通巻第696号
発行 一般社団法人滋賀県建設業協会
〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18
TEL.077-522-3232(代)
FAX.077-522-7743
https://www.yumeken.or.jp
企画編集 広報委員会
協力・印刷 宮川印刷株式会社

最近、クラフトコーラがブームになっていますが、近江八幡市にある食産耕房から今年4月に発売されたクラフトコーラシロップ、その名も『びわコーラ』が、滋賀県産食材を使った滋賀県初のシロップとして話題になっています。

16種の原材料のうち滋賀県由来の材料は、蒲生あかねいちじく、近江米、近江八幡市で収穫される『むべ』の果実、近江八幡産の柑橘類、安土養蜂園のはちみつ、伝統野菜の『弥平とらがらし』の6種。

農業や化学肥料や除草剤を使わない安全な農産物を生産し、滋賀県のこだわり食材や食品の開発・販売を行っている食産耕房では、「滋賀県に眠る、まだ知られていない食材を通してその魅力を発信したい」という想いを込めて製品化に取り組みました。

開発を担当した谷口佳隆さんは日本ジェラート協会認

滋賀の恵みが詰まった
クラフトコーラシロップ『びわコーラ』

定ジェラートマエストロとして、地元産の食材を使ったジェラートづくりに取り組んできた経験を活かし、基本のクラフトコーラのレシピにさまざまな地元産食材を組み合わせて、天然素材100%のコーラシロップが完成しました。

「ジェラート以外に滋賀らしい加工品が何か作れないかと考えていた時に、クラフトコーラがブームになっていることを知りました。まず、地元のみなさんに知ってもらい、それから県外にも販路を拡大していきたい」と谷口さん。

炭酸水3対シロップ1で割るのが基本ですが、温かい牛乳を入れてチャイのような風味を楽しむのもお勧め。琵琶湖をデザインしたラベルもおしゃれで手土産にしても喜ばれそうです。

琵琶湖をデザインしたおしゃれなラベル

安土養蜂園のはちみつ

滋賀由来の材料の一つ 蒲生あかねいちじく

近江八幡市で収穫される『むべ』

【食産耕房】
●TEL 070-2791-4762 (担当:児島)
●HP:https://syokusan-kobo.com
●びわコーラ 1本1,480円(税込)
※門前そば処「長命庵」のほか、JAグリーン近江 ファーマーズマーケット「きてかーな」、近鉄百貨店草津店、竜王アウトレット内「湖の駅」などで販売しています。

蝉の鳴き声が聞こえなくなり、トンボが飛び光景を見て今年も暑い夏が終わったなあと季節を感じつつ編集後記を書いています。

今年、我々広報委員会は建設業協会と共に委員及び役員改選の年でした。新たなスタッフを迎え気持ちも新たに、業界の発展の一助となるべく活動をしていきたいと思ひます。

初々しい方もメンバーに来て頂き、これからどんな活動をしていけるか……楽しみで仕方ありません^^

個人的には、コロナに気を遣わず地域の良いところ、美味しいお店なんかを現地へ伺いながら、皆さんと楽しく話をしながら活動をしていけたら良いなあなんて思ったりしています。

出来るだけ親しみやすい紙面にしていこうと思ひますので皆様、ご意見等ございましたら遠慮無くお願い致します。

これからも新生広報委員会をよろしくお願ひします。

After Word



仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム

ドローンの操縦免許を取得 鳥の目で風景の撮影を楽しむ

藤田建設株式会社 江頭 親房

趣味としてアマチュア無線を長いことやっていましたし、若い頃は1級の船舶免許を取って、ボートを所有していたこともあります。家族を連れて琵琶湖をクルージングしたりバス釣りを楽しんだりしていました。仕事柄、写真を撮ることも多く、カメラに凝ったこともあります。

ドローンがブームになり始めた、今から6年ほど前、もともとラジコン飛行機をやっていて、その延長で興味を持ったという知り合かけでした。初めは独学で操縦していたのですが、令和元年に草津にあるスクールを受講してドローン操縦士回転翼3級という免許を取得しました。

試験で使用するGPS機能が付いていないドローンは操作がとて難しくて、かなり練習を積んで試験に臨んだところ、最高齢の合格者となりました。



GPS機能のない難しい操縦もこなせる、ドローン操縦士回転翼3級の免許を持つ江頭さん。



江頭さん所有のドローンを「けんせつみらいフェスタ」で展示したこともあるという。

ドローンの技術は日進月歩でどんどん性能の優れた製品が出てくるため、次々と新しいものが欲しくなってきたりあります。決して安いものではないので、ほどほどにしておかなければと思うのですが…。

ドローンの楽しさは何と言っても鳥の目線で地上の風景を見られるところにあります。桜の季節には見られなかったような非日常的な動画や写真を撮影できるのが大きな楽しみになっています。

完成写真などの仕事で必要な写真を撮ることもあります。「けんせつみらいフェスタ」の会場にドローンを展示したこともあります。小学1年生のひ孫は興味津々で、もう少し大きくなったら一緒に操縦できるかなと楽しみにしています。

今、農業の散布などを行う農業用ドローンが注目されていますが、通常のものより大きな機種になり、これを操縦するためにはまた別の免許が必要になります。免許取得を目指して新たなチャレンジをしてみようかと考えているところです。

- アメリカンフットボール
- ハンドボール
- ビリヤード
- ラグビー
- サッカー
- アイスホッケー
- バドミントン
- バスケットボール
- バレーボール
- テニス
- ゲートボール



- 庭球 (ていきゅう)
- 籠球 (ろうきゅう)
- 羽球 (うきゅう)
- 氷球 (ひょうきゅう)
- 門球 (もんきゅう)
- 撞球 (どうきゅう)
- 鎧球 (がいきゅう)
- 排球 (はいきゅう)
- 送球 (そうきゅう)
- 闘球 (とうきゅう)



パズル クイズ
漢字クイズ
スポーツの秋。おなじみのスポーツ名と、和名の漢字表記をつなげてください。
一つだけ漢字表記のないのはどのスポーツでしょうか。

